

Revitalize代表・片桐豪志が、週刊金融財政事情にて「創発的番頭」育成プロジェクトを紹介

概要

中小企業支援に特化したコンサルティングプラットフォームを運営する株式会社Revitalize（代表取締役兼CEO 片桐 豪志）は、ビジネスプロデューサーの安川幸男氏と共に、週刊金融財政事情（2025年4月22日号）にて、「創発的番頭」育成プロジェクトに関する共同で寄稿を行いました。

寄稿内容

この寄稿では、ファミリービジネスにおける「番頭」の重要性と、事業承継後における新たな「右腕人材」の育成の必要性について論じています。特に、京都北都信用金庫とイキナセカイが共同で開始した「ミギウデ塾」の取り組みを紹介し、地域金融機関が地元中小企業の人材育成・開発を担う育成機関としての役割を果たすことの重要性を強調しています。

詳細は、週刊金融財政事情2025年4月22日号をご覧ください。

記事URL: <https://kinzai-online.jp/node/12919>

今後の取り組み

Revitalizeは、今後も地域金融機関やパートナー企業と連携し、中小企業の持続的な成長と地域経済の活性化に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

info@revitalizejapan.com

【株式会社Revitalizeの概要】

会社名： 株式会社Revitalize

代表者： 代表取締役兼CEO 片桐 豪志

所在地： 東京都文京区

設立： 2023年4月

事業内容： 中小中堅企業特化型コンサルティング、コンサルティングプラットフォームの運営

資本金： 3,900万円(資本準備金含む)

URL: <https://revitalizejapan.com/>